

包装ごみを減らそう！

神戸生活情報センター

2014/02/12

神戸大学大学院経済学研究科 教授

特定非営利活動法人ごみじゃぱん 代表理事

石川雅紀

内容

1. ごみ問題

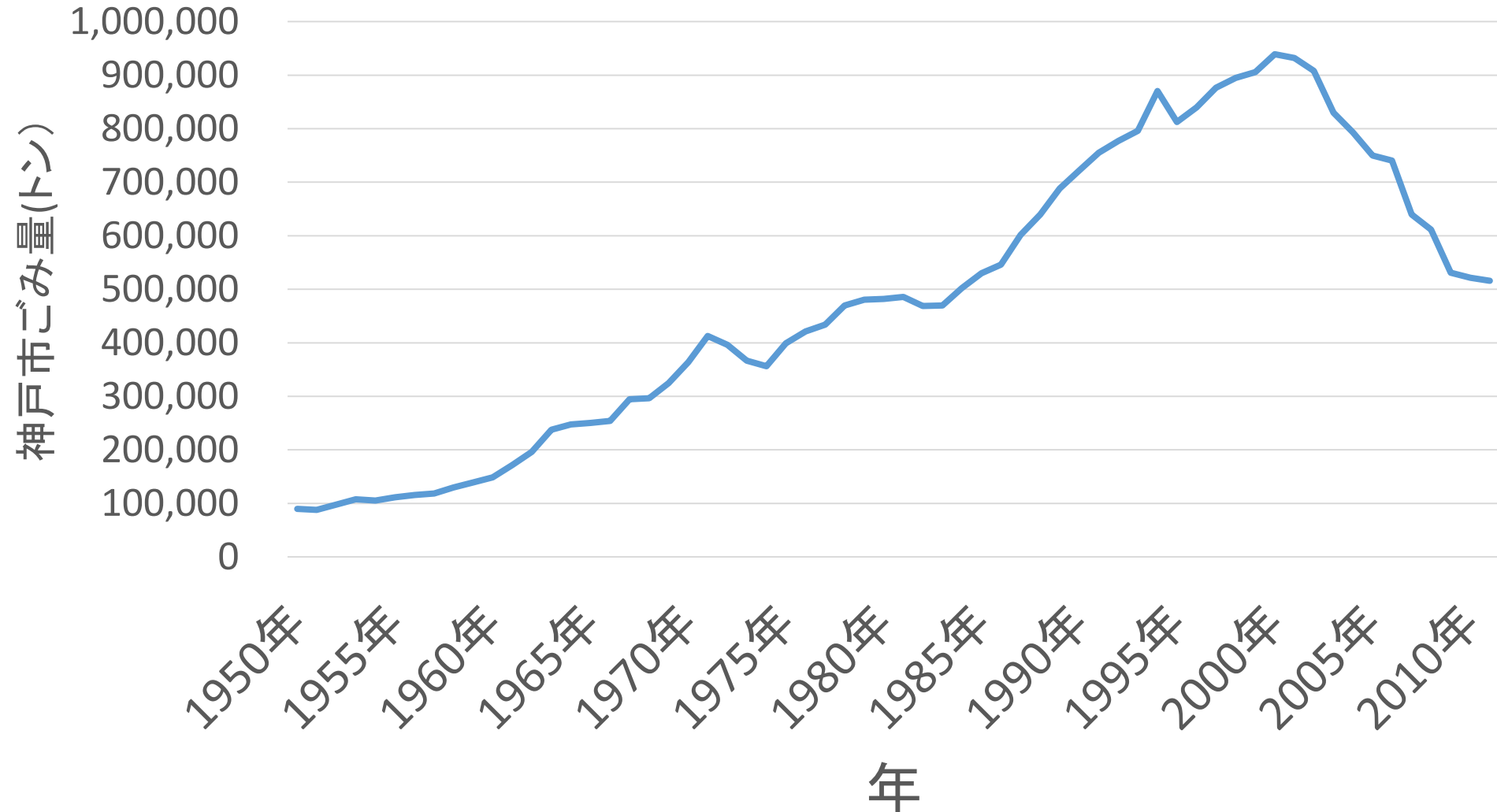
2. 燃えるごみ減らそうトライやる

意識すればごみは減らせる！ 神戸市民1,000人の大実験

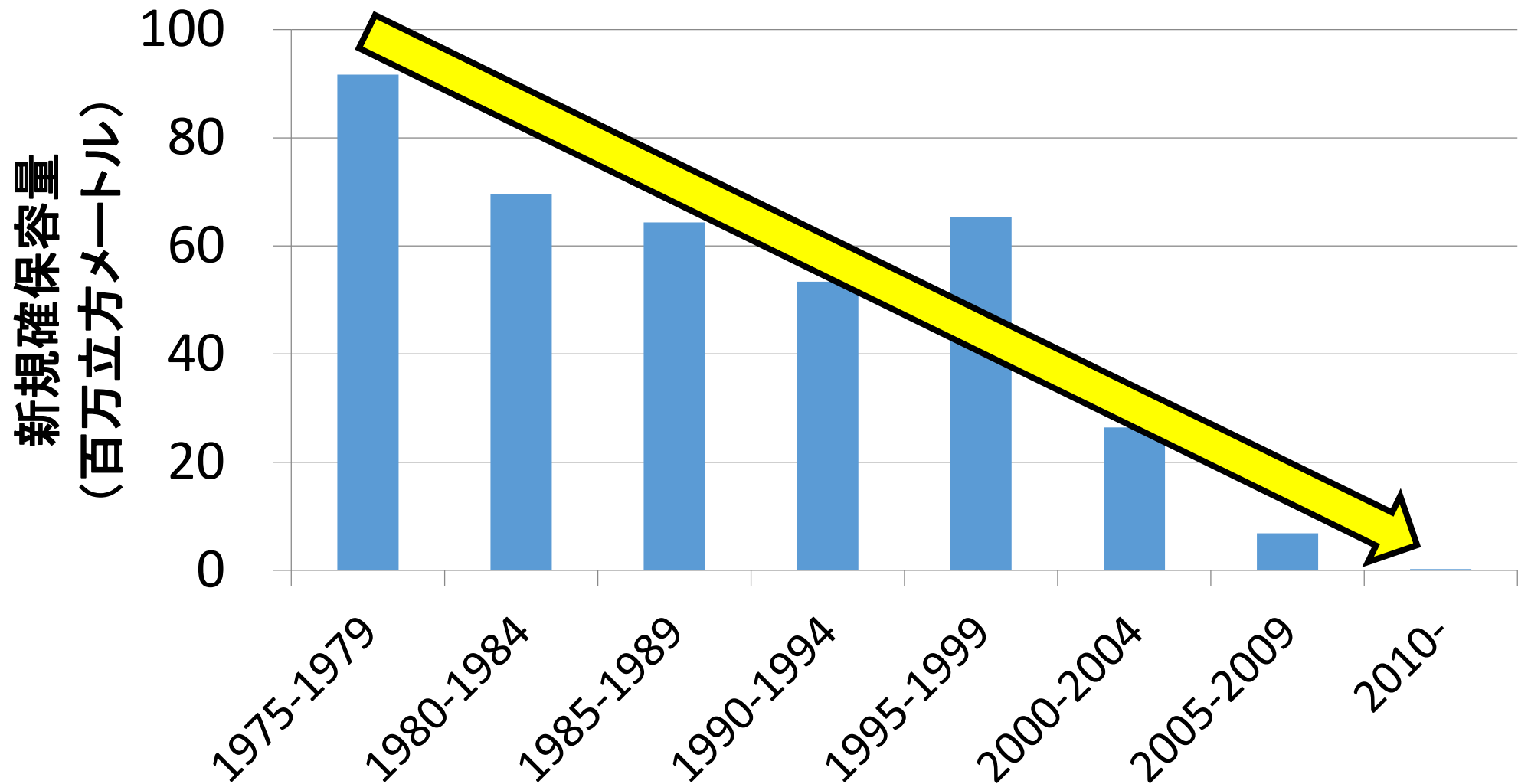
3. 減装ショッピング

無理なくごみを減らす消費者の力

ごみ問題：神戸市のごみ量



埋立開始年度別総容量



日本のリサイクル率の実績

ガラス	68.1%	リサイクル	2012
スチール缶	90.4%	リサイクル率	2012
アルミ缶	94.7%	リサイクル率	2012
プラスチック製包装	40.6%	再資源化率	2011
PET	79.6%	回収率	2011
紙製容器			
飲料用	32.5%	回収率	2011
その他用	23.0%	回収率	2011
段ボール	99.3%	回収率	2010

減そう生活実験

目的

- ・意識するとごみを減らせるのか？
- ・自分にできることを見つける。
- ・気づきを集めて共有する。

減そう生活の実施イメージ

ステップ①



今週は計測する1週間！1週間分の燃えるごみの量を意識しないでとりあえず秤ではかって、記録します。（容器包装ごみも同じ）

ステップ②



燃えるごみ 〇kg
計測日 〇月〇日

ステップ③



1週間が終わりました。いよいよごみを意識した1週間のごみの量を計測します。

ステップ④



測り方は、意識しないときと同じです。

ステップ⑤



気づいた事 困ったこと
.....
.....

気づいた事なども記録します。

ステップ⑥



実験結果と秤を
にご返却ください。

こうして計ります



減らそう生活

1. 2011年11月 神戸市北区
110世帯 2週間 プラ包装ごみ＋燃えるごみ
2. 2013年 2月 大垣市
92世帯 2週間 プラ包装ごみ＋燃えるごみ
3. 2013年 7,8月 神戸市
914世帯 2ヶ月 燃えるごみ

燃えるごみ減らそう生活：結果

	意識しない生活	減そう生活	削減量
燃えるごみ量 (kg/人・月)	10.15	7.76	2.39

参加世帯数：914世帯、 実験完走(報告)世帯：677世帯

燃えるごみ削減率 23.5%

もしも、全市民が参加したとすると...

燃えるごみ(家庭系)2012年(269,705トン)の23.5%
が減ったとすると...

63,380トンのごみが減ります。

これに、2010年の神戸市の平均ごみ処理費用
39,885円/トンを掛けると**約25億円**となります。

減らそう生活実験の結果

～みなさんの気づき～

「この期間以降も雑紙の分別を家族にも頼んで気をつけるようにしたが、紙にビニールが混在したものも多く、作成側でシンプルにしてもらうことがよいと思う。」

「紙類が多いと思った。食品を買いすぎている。」

「畑に穴をほって埋めることができる物があった。」

「ダンボールコンポストをしたり、プラゴミをリサイクルにまわすことでゴミはかなり減ってきている。」

減装ショッピングとは？

お買い物するとき、 容器包装が少ない商品
（＝減装（へらそう）商品） を買っていただく事で、ごみを減らしていこうという運動です。

活動を実施している店舗で、このマークのついた商品を買っていただくと、ごみを減らすことができます！



包装に関する事業者と生活者の認識ギャップ

事業者

- ・ 包装をセールスポイントにしない事業者
包装はあくまで付属品
クレームが出ないように

消費者

- ・ 包装とは「商品を包む事」と思う消費者
買う時にごみなる事を考えない
ごみを出すときに腹が立つ

消費者に
購買の瞬間に容器包装の少ない商品を知らせる

消費者

- ①ごみが出るのは嫌。
- ②買い物ときはごみの事は考えない
- ③メーカーが作らないのが悪い。

目印



メーカー

- ①売れなくなるのが怖い。
- ②コスト削減だけと思われる
- ③受け入れられるなら、簡易化したい。

売上分析

事業者
容器包装の少ない商品が売れることを知らせる

⑤社会課題の解決モデルとなる

④市場の多くの商品の包装が簡易になる

③メーカーが簡易な包装を選択する

②消費者が簡易な包装の商品を選択する

①消費者が簡易な包装の価値を認める

購買の瞬間に包装ごみを
意識する

簡易包装商品が売れない理由

買う時にごみの事まで
思いが至らない

ではどうするか？

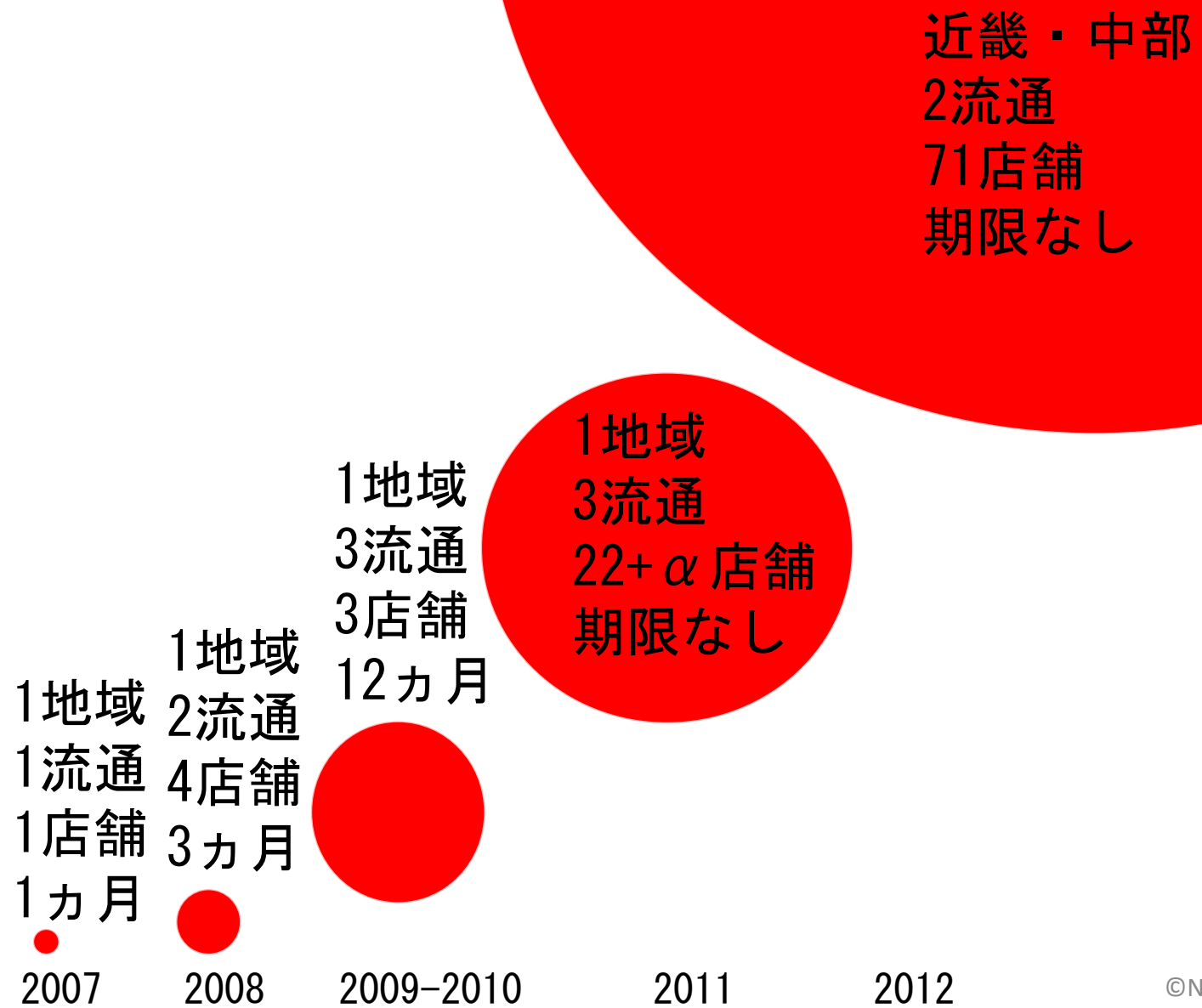
生活者側の対策

- ・ ゴミ問題を自分事化する
- ・ ゴミ問題をより深く理解する

事業者側の対策

- ・ 商品棚で包装ごみの情報を提示
- ・ 包装を簡易化する。

拡大する事業規模



捨てられる食品と食料

- 世界で生産された食料のうち、生産から消費の段階で1/3の13億トンが捨てられている。
- 途上国では、ポストハーベストロス
生産から加工までの間に失われる
- 先進国では、小売、外食、家庭などで発生する。

消費者にできること

1. ごみを意識しましょう

買うときにごみを思い出すと、ごみは減ります。

2. 応援しましょう

減装ショッピングなどに取り組む事業者を応援する。

3. 選びましょう

容器包装の少ない商品を選びましょう。

ご清聴ありがとうございました。